

2025年8月19日

2025年7月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連を中心に動きがみられたものの、全体的には小ロット案件が中心で前年を下回った。巻取についても学参、生損保、金融・チラシ関連に大口案件がみられず、前年を下回った。

（前年比 平判 97.6% 巻取 95.7%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の受注増加がみられ、前年を大幅に上回った。巻取も入札案件が堅調に推移し、前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 135.2% 再生上質巻取 110.4% 再生上質計 120.5%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 97.3%）

<A2 コート>

平判は、大学関連の案内冊子、旅行やレジャー等で動きがみられたが、特段目立った動きはなく、部数、頁数の減少等の影響により、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、大学案内冊子やイベント関連印刷物、食品デリバリーのチラシ等で動きがみられ、グロスは前年を下回り、マットは前年を大幅に上回った。

（前年比 平判 96.9% 巻取 106.9% 全体 98.5%）

<A3 コート>

定期的なドラッグストアや量販店、旅行などのチラシ案件で一部動きがみられたが、全体的には動きが非常に悪く、平判、巻取共に前年を大きく下回った。

（前年比 平判 89.2% 巻取 87.4% 全体 88.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は自治体の福祉医療系帳票の動きは見られたものの全般的に低調。巻取は生損保も細かな案件に終始し民間の動きも鈍く、前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 92.0% 巻取 87.0%）

<上質フォーム>

税金関係の動きは落ち着いたが、健保系の案件や資格確認書の追加などの動きあり。また、印刷大手の外注化の動きもあり前年を上回った。

（前年比 116.4%）

<包装用紙>

役所向け・金融機関向け封筒等に動きがあり、全般的に昨年とほぼ同等の数量になった。

純白ロールはお盆や夏季需要を見込んだお土産関連や、大型商業施設向けの包装紙等に動きがみられ昨年来を若干上回った。

包装紙全体では 101.3%と昨年来を上回った。

(前年比 101.3%)

<板紙>

コートボールは、酷暑の影響により冷蔵向けパッケージが上向いたものの、物価高の影響と、紙パッケージから軟包装化への動きもあり、低調であった。

特板は一部POP向けや、テイクアウト需要にも動きがみられたが、全体的には低調であった。

高板はトレーディングカードとブランド化粧品向けパッケージ関係が好調。

チップボールにおいては梱包資材関係の低調が続き、また貼り箱用途の貼合品の荷動きは、前年並みで推移。

一部好調な分野はみられるものの、全体的には前年を下回る荷動きとなった。

(前年比 95.6%)